

1

$a_n = \boxed{2n+1} \cdots \spadesuit$ と予想できるので、これが正しいことを帰納法で示す。

(i) $n=1$ のときの $\spadesuit$ を示す。 $a_1 = 3 = 2 \times 1 + 1$ なので、 $n=1$ のときの $\spadesuit$ はたしかに正しい。

(ii) $n=k$ のときの $\spadesuit$

$$a_k = 2k + 1 \cdots \textcircled{1}$$

が正しいならば、 $n=k+1$ のときの $\spadesuit$

$$a_{k+1} = 2k + 3 \cdots \sharp$$

も正しいことを示す。 $\textcircled{1}$ が正しいならば、

$$\begin{aligned} a_{k+1} &= \frac{a_k + 5}{2} + k \quad (\because \text{漸化式}) \\ &= \frac{2k + 1 + 5}{2} + k \quad (\because \textcircled{1}) \\ &= \frac{2k + 6}{2} + k \\ &= (k + 3) + k \\ &= 2k + 3 \end{aligned}$$

より、 $\sharp$ はたしかに正しい。

(i),(ii) より、 $\spadesuit$ がすべての自然数 n について成り立つことが示せた。

2

$a_n = \boxed{2^n - 1} \cdots \spadesuit$ と予想できるので、これが正しいことを帰納法で示す。

(i) $n = 1, 2$ のときの $\spadesuit$ を示す。 $a_1 = 1 = 2^1 - 1, a_2 = 3 = 2^2 - 1$ なので、
 $n = 1, 2$ のときの $\spadesuit$ はたしかに正しい。

(ii) $n = k, k + 1$ のときの $\spadesuit$

$$a_k = 2^k - 1, a_{k+1} = 2^{k+1} - 1 \cdots \textcircled{1}$$

が正しいならば、 $n = k + 2$ のときの $\spadesuit$

$$a_{k+2} = 2^{k+2} - 1 \cdots \sharp$$

も正しいことを示す。 $\textcircled{1}$ が正しいならば、

$$\begin{aligned} a_{k+2} &= 3a_{k+1} - 2a_k \quad (\because \text{漸化式}) \\ &= 3(2^{k+1} - 1) - 2(2^k - 1) \quad (\because \textcircled{1}) \\ &= 3 \times 2^{k+1} - 3 - 2 \times 2^k + 2 \\ &= 3 \times 2^{k+1} - 2^{k+1} - 1 \\ &= 2 \times 2^{k+1} - 1 \\ &= 2^{k+2} - 1 \end{aligned}$$

より、 $\sharp$ はたしかに正しい。

(i),(ii) より、 $\spadesuit$ がすべての自然数 n について成り立つことが示せた。